

週明けの月曜日でした。子供たちの登校を出迎えようと正門に行くと、先週と変わらず、元気で明るい表情の子供たちがニコニコ笑顔であいさつをしてくれました。もう校長先生は覚えてくれたかな。「校長先生、おはようございます。」と返事をしてくれる子が増えてきました。

1校時が始まる前に子供たちの様子を見るために教室を廻りました。最初に向かうのはもちろん1年生です。「学校を嫌がる子はいないかな。」「教室で泣いている子はいないかな。」「一人ぼっちで寂しそうにしている子はいないかな」・・・教室の子供たちを見るまでは心配が絶えませんでした。でも、そんな心配は無用でした。1年生の教室に近づくと、担任の先生の指示の音が大きく聞こえてきました。そして、6年生のお兄さんお姉さんたちも教室にいました。給食で飲んだ牛乳パックをたたむ練習している場面でした。6年生の丁寧な教え方に1年生もうれしそうにしていました。何事も初めての1年生にとって6年生のお兄さん、お姉さんのやさしい接し方が安心感を与えてくれるのでしょうか。つつい全部やってしまう6年生に「1年生の子が牛乳パックを畳むようにしてね。」と担任の先生から注意がありました。がやさしさのあまりですね。

2年生の教室に行くと、タブレットを上手に使って連絡帳を書いていました。小さいうちからタブレットに触っていると、どんどん慣れていきますね。とてもいいことです。

6年生の教室では1年生の補助に行っていたので半数ほどの子が教室にいました。しばらく教室の様子を見ていたのですが、ひとりひとりが何をすべきかしっかりわかっていて、静かに読書をしていました。その姿勢がとてもよかったので思わず教室に入り、黒板に『6年生、すばらしい!』とメッセージを書きました。それだけを書いて教室を出て行ったので教室にいた6年生は啞然としていました。でも担任の先生が子供たちに「やったね。ほめられたね。」と声をかけるとうれしそうな声が廊下に聞こえてきました。気分がよかったのか「校長先生の字、うまいなあ。」とほめてくれる声も聞こえました。ありがとう。

4年生の教室に行くと、担任の先生が本の読み聞かせをしていました。そして、2冊目の本で私も大好きな「大ピンチずかん」の1部を紹介していました。牛乳の大ピンチは終わっていたようで、次に訪れるガムの大ピンチの話でした。噛んでいる途中にガムを飲み込んでしまった大ピンチでした。担任の先生から「ガムを飲み込んだピンチになったことのある人？」と質問がありましたが、子供たちと一緒に私も廊下から手を挙げました。「校長先生も一緒や。」このピンチは誰もが経験ですね。でも安心。飲み込んだガムはうんちと一緒に出てくるからね。

3年生の教室では担任の先生が半袖でがんばっていました。子供たちと一緒にいると何かと熱が入り、熱くなるそうです。3年生のパワーはなかなかのものですからね。でも、3年生はそうでなくちゃ。いつも楽しそうに勉強ができています。

5年生の教室に行くと、みんな前を向いて担任の先生の話聞いていました。しっかり話を聞くと、羽目を外すときのけじめがきちんとついています。それが大事だからね。いつも真面目ばかりでは絶対にダメです。だからといってふざけてばかりはもっとダメです。きちんと切り替えのできる5年生になってね。

今週も、いいスタートを切ることができました。